

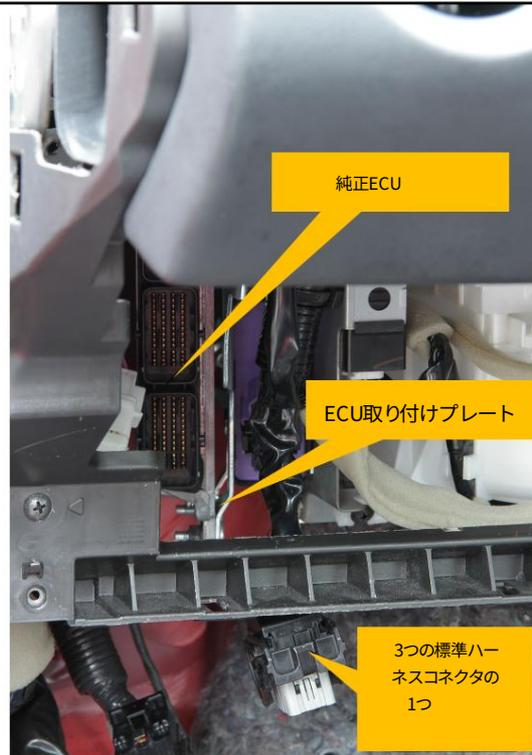


NISSAN R35 GT-R エンジンプラグインキット (右ハンドル&左ハンドル)
インストール手順





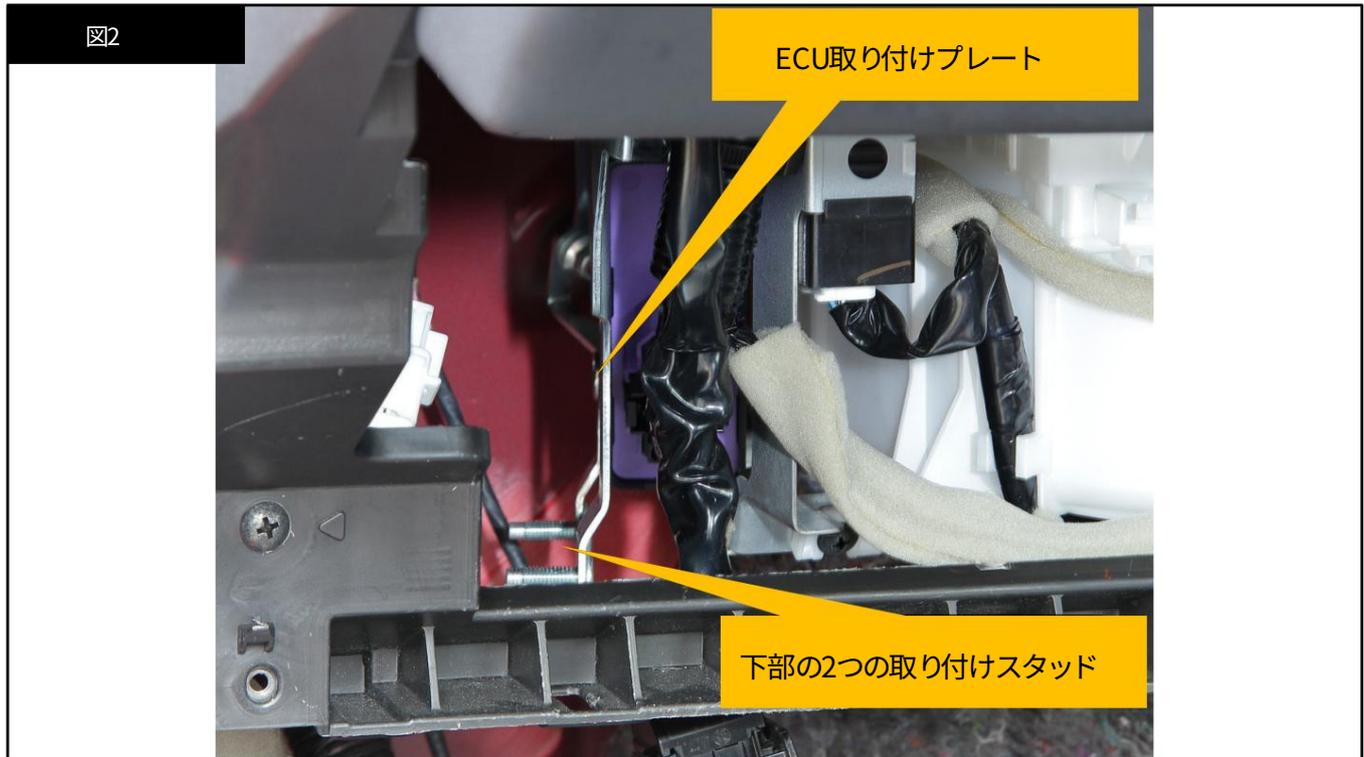
図1



インストール

左ハンドル車と右ハンドル車では M150 ECU の取り付けが異なりますが、それ以外のインストール手順は同様です。

1. ファイアウォール グロメットにアクセスできるように、バッテリーを取り外します。
2. 次の手順で標準 ECU を取り外します。
 - a) グローブボックスを取り外して標準の ECU にアクセスします。
 - b) 標準 ECU からハーネス プラグを取り外します (図 1 を参照)。



c) 標準 ECU から 4 つの M6 フランジ ナットを取り外して保管します。

d) 標準の ECU を取り付けプレートから取り外します (図 2 を参照)。

MoTeC



3. 次のいずれかのオプションを使用して、ブレイクアウト ルームの空気温度、 LTCD、および燃料圧力のケーブルとプラグをファイアウォールに通過させます。

また、図 8 も参照してください。メイン ハーネス グロメットと助手席側の足元にある 16 mm の穴が示されています。

オプション1 :未使用の既存の16mmの穴 (ブランクグロメットが取り付けられている)を21mmまでドリルで開け、燃料パイプを通します。

圧力、空気温度、および LTCD コネクタとケーブルを適切なグロメットを使用して穴を密閉します。

オプション 2:最初に燃料圧力、空気温度コネクタ、および LTCD メス ピンを LTCD ソケットから取り外し、次に配線を 16mm の穴に通して適切なグロメットで密封することにより、ドリルで穴を開けずに 16mm のグロメット穴を使用できます。

空気温度コネクタと燃料圧力コネクタを再接続します。LTCDコネクタは、メスのコンタクトを再度挿入し、オレンジ色のキャップを交換するだけで済みます。

MoTeC



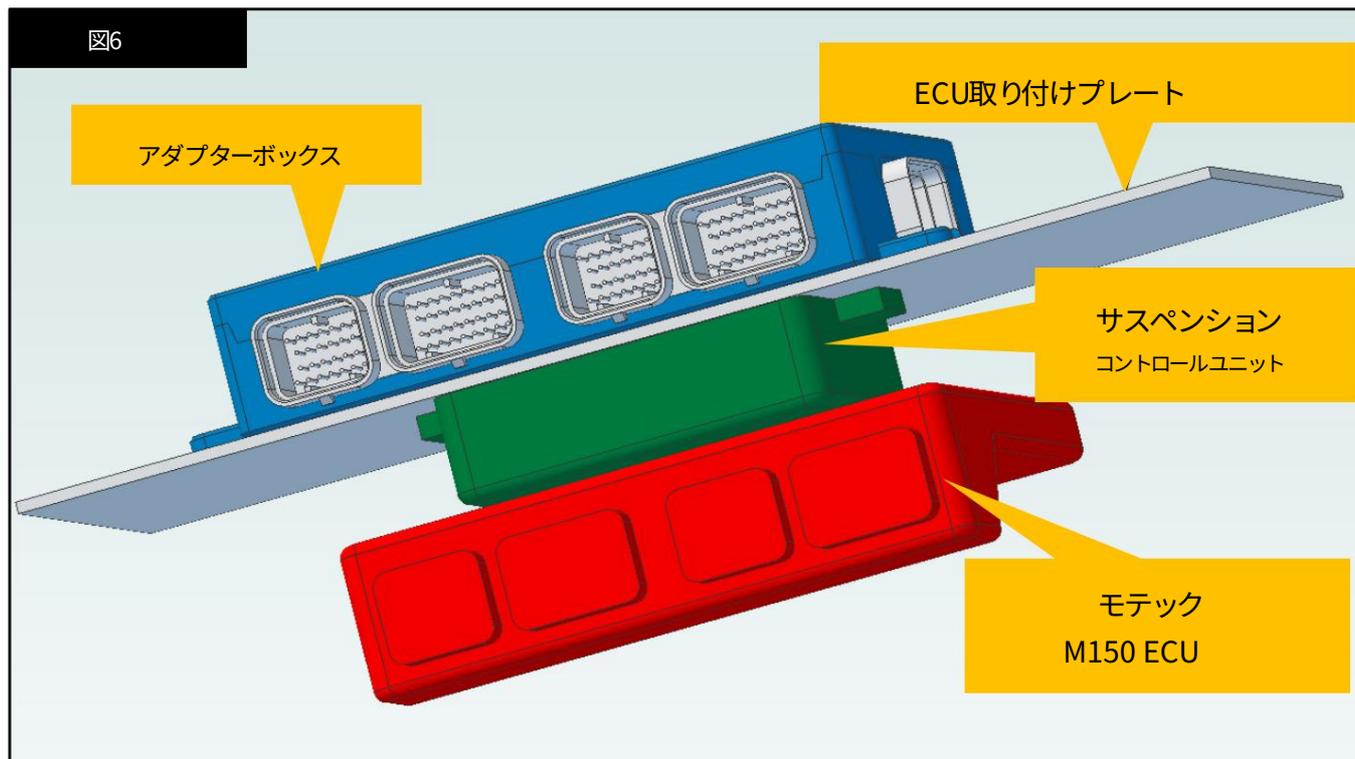
オプション3 :メインハーネスのゴムブーツを上部ファイアウォールから取り外します（車内から行うのが最適です）。ケーブルとコネクタをメインハーネスのゴムブーツに通すため、ブーツを調整または改造します。その後、ゴムブーツの位置を調整し、しっかりと密閉されるようにしてください。図4を参照してください。



1. 標準のラムダ センサーを、NTK 延長ケーブルを介して LTCDC NTK まで延長された付属の NTK ラムダ センサーと交換します。
2. 付属の空気温度センサーを取り付けます。

これをインレットマニホールドに取り付けることを強くお勧めします。理想的には、マニホールドを取り外し、図5に示すようにM14 x 1.5のネジ穴をドリルで開け、タップを立ててください。

MoTeC



6. 4つのスタブルームをM150 ECUに挿入します。イーサネットコネクタ付きのスタブルーム（注参照）を除き、スタブルームは左右対称になっており、どちらの端もM150 ECUに挿入できます。コネクタにはキーが付いており、対応するソケットにのみ挿入できます。

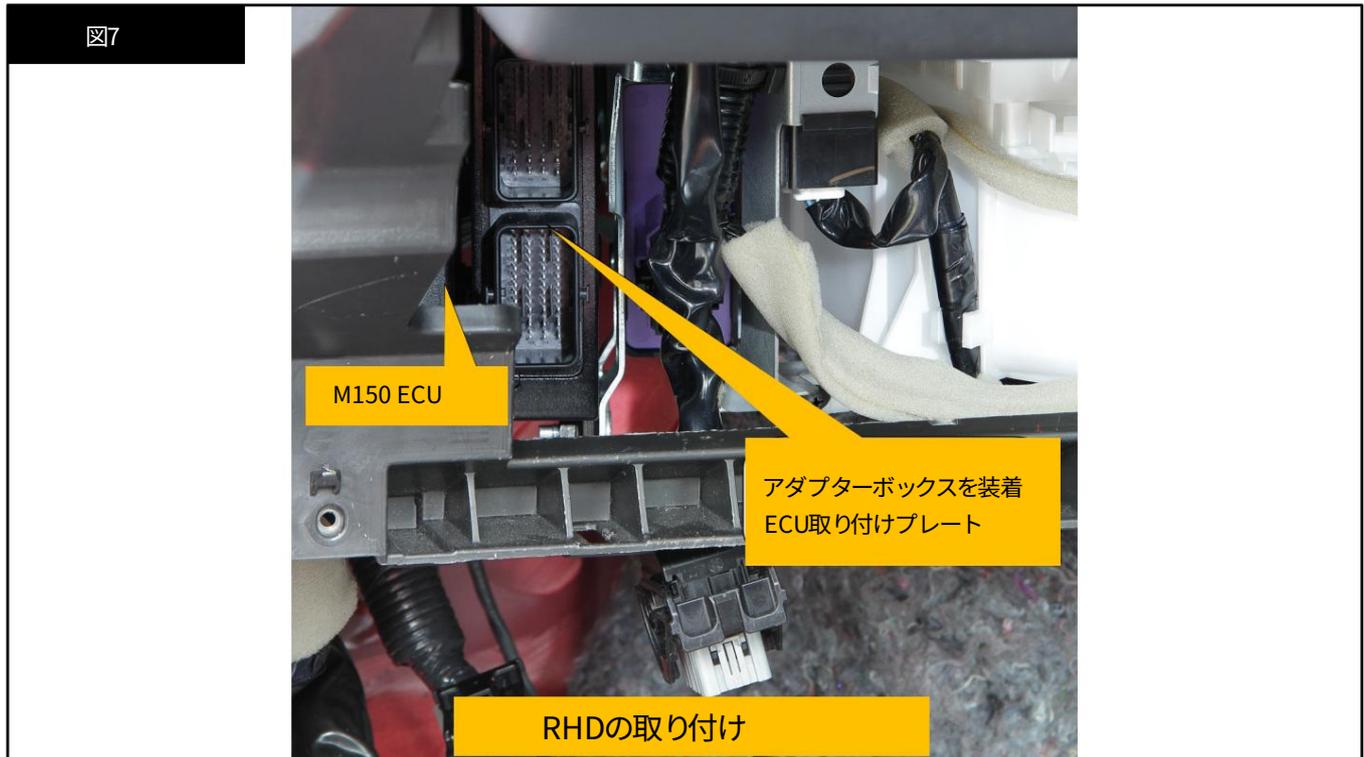
イーサネット ケーブル付きのスタブルームの場合は、イーサネット ケーブルが付いているプラグが M150 に差し込まれていることを確認します。

7. 3枚のベルクロデュアルロックストリップをM150の取り付け位置に固定します。ECUのベルクロストリップの向きに合わせてください。取り付け位置は右ハンドル車と左ハンドル車で異なります。詳細は以下をご覧ください。

以下から選択してください:

- RHDの場合 - M150の取り付け位置は、最初の図に示すように、アダプタボックスの上部です。ページの製品画像。
- 左ハンドル車の場合 - M150の取り付け位置は、純正ECU取り付けプレートの後ろ、サスペンションコントロールユニットの上部です。図6にアセンブリの図解を示します。

MoTeC

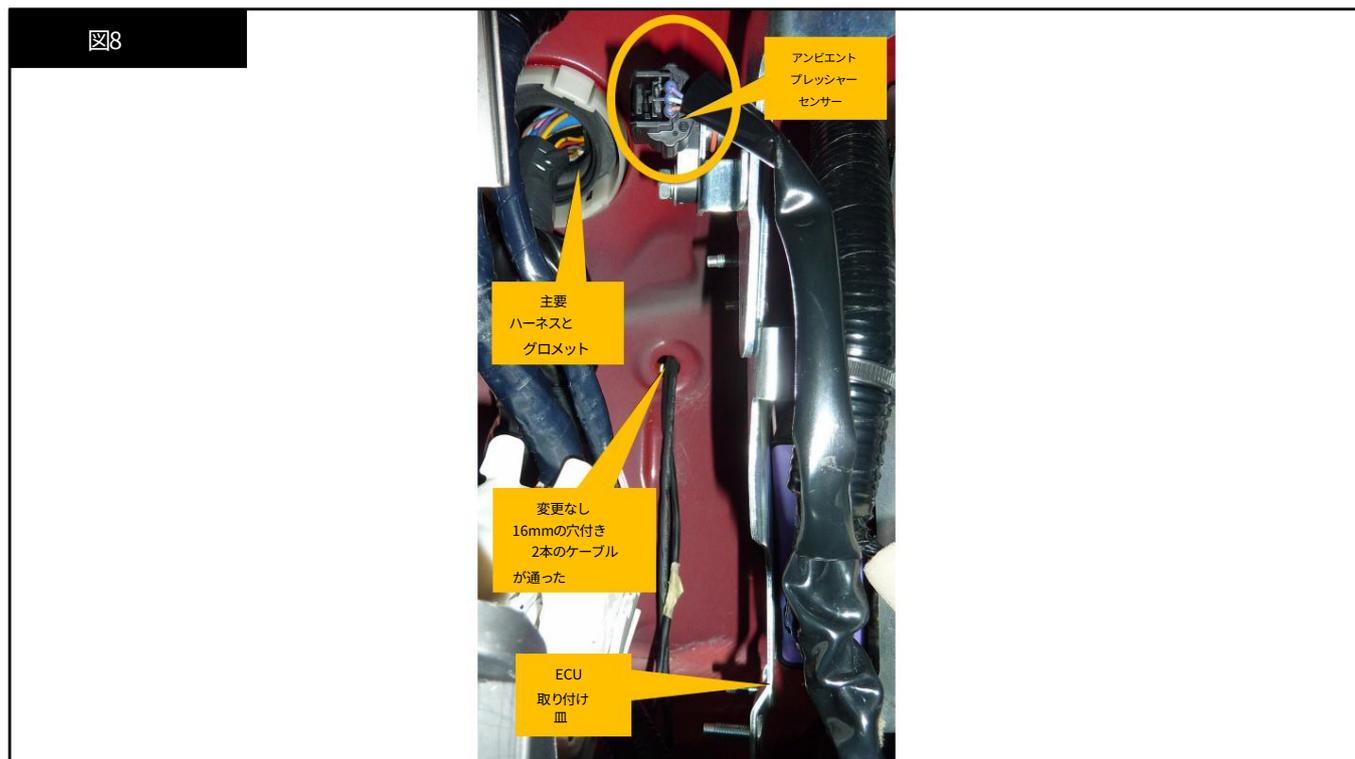


8. M150を取り付け位置に置き、しっかりと圧力をかけて固定します。
ベルクロック。

9. スタブルームをアダプタ ボックスに差し込みます。

10. アダプターボックスをストックECUマウントスタッドに置き、オリジナルの4つのM6を使用して固定します。
フランジナット。

LHD マウントでは、金属タブをアダプタ ボックス ハウジングから曲げる必要があります。



11. R35 ブレイクアウト ルームをアダプタ ボックスに接続します。

12. 標準の ECU ハーネス プラグをアダプタ ボックスに接続します。

13. イーサネットケーブルをアクセスしやすい位置に配置し、M1 Tuneでノートパソコンに接続します。

インストールされました。

14. この車両には、エンジンとセンサーの組み合わせが複数あります。外気圧センサーには2つの選択肢があります。蒸発キャニスター内のセンサーから取得するか、図8のようにECUの上にセンサーを取り付けることができます。